演習Ⅱ

担当者 石上　敏

開講時期 通年　　**単　位** 8

●講義の到達目標

演習Ⅰの成果をふまえつつ、さらに高度な調査能力とその実践、また文献読解能力を養う。

その結果として、修士論文の作成にふさわしい文献作成能力を修得することを目的とする。

●講義の概要

受講者各自の研究テーマにもとづき、演習Ⅰで身に着けた調査能力をさらに伸ばしつつ、修士論文の作成に向けて練成させて行く。

●講義計画

それぞれの研究テーマにもとづき、「地域」と「文化」に対する研究の方法と実践を学び、修士論文の基盤を構築する。

●成績評価基準と方法

講義への参加度及び取り組みの姿勢（30%）、授業中の発表・報告（30%）、また、その結果としてのレポート、課題への取り組み状況（40%）を総合的に評価する。

●テキスト又は参考文献

テキスト及び参考文献は、受講者との相談の上で講義開始後に定める。

その他の資料は、適宜用意する。

●受講上の留意点

毎回の授業内容を理解し、不明な部分は必ず担当者に質問して理解すること。